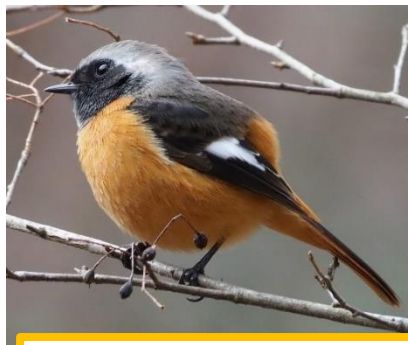


12月の園の木 もみじ



じょうびたき

左がおす 右がめす

「ひんひんと 鳴き声聞こえる ショウビタキ」



12月になって急に寒くなりました。ジャングルジムの横のもみじの木が美しく紅葉していました。園庭には、ドウダンツツジもあり、赤や黄色の葉っぱを楽しむことができます。冬鳥の仲間でアイドル的な小鳥は、ショウビタキです。公園や家のまわりで気をつけて探せば見つかります。オスもメスもつぶらな瞳がかわいい小鳥です。鳥は、大人も名前を知りません。まずは、保護者の方から名前を覚えてほしいです。おすすめの本は、「子どもと一緒に覚えたい野鳥の名前」です。この本は、岩倉図書館にあります。園の部屋には御所で見つけた秋の木の実がどっさりあります。窓はもみじのステンドグラスで飾られています。木の实を使って、にじ組さんは、魔女の家を作っていました。チュニジア風のタイル模様は露天風呂だそうです。はな組さんは、どんぐりケーキを作っています。手も足も絵具で紅葉しています。この体験は小学校では、生活科の学習につながります。自然の日にオーシャンブルー（宿根朝顔）の話をする、にじ組さんの子から「朝顔の青い花に石鹼水をつけると、水色になるのはなぜですか？」という質問を受けました。これは、小学校の6年生理科で学ぶ事柄です。先生方が準備を丁寧にした園での子どもたちの豊かな体験が大きくなってからの学習に生かされると感じました。

明德幼稚園や公園で見つけた自然通信

2022年11・12月号 岩倉自然学習ボランティア 村上 幹夫

